

新春を彩る 一人ひとりの想い

新年明けましておめでとうございます。すがすがしい新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

さて、昨年のトピックスとしては、「**村発足70周年記念事業**」が挙げられるのではないでしょうか。7月の式典では若者が主役となり盛大に開催することができましたし、8月の東海まつり花火大会では、7000発の見事な花火が打ち上げられ、多くの村民の皆さまに楽しんでいただきました。現在は、フォートコンテストや「新婚さんいらっしゃい!」の公開収録への準備を進めております。今後とも、皆さまと70周年を振り返りながら、次の世代にしっかりとつないでいけるよう取り組んでいきます。

次に、今年の重点施策についてお話ししたいと思います。

一つ目は、「**こども・わかもの政策**」の推進です。

昨年11月に本村で開催された「わかものまちなミット2025」では、全国の先進的な取り組みが多数紹介され、参加者同士の情報共有や意見交換が活発に行われました。このサミットを契機に、新たな取り組みにもチャレンジしていきたいと考えています。また昨年は、こども・わかもの声をしっかりと聞き取るために、「オンラインプラットフォーム」を導入したことで、率直な意見を把握することができ、手応えを感じました。こうしたツールもうまく活用しながら、「こどもの居場所づくり」という課題への

取り組みを強化していきます。特に中学校では、部活動の地域移行が進められていく中で、放課後や休日における生徒の居場所が必要であると認識しています。生徒の意見を聞きながら、施策の方向性を取りまとめていきます。

二つ目は、「**産業振興ビジョン**」の推進です。

令和7年度からスタートしていますが、これまでに、「サプライチェーン基盤の構築」や「スタートアップの創出」に向けた検討を進めており、関係者間の協議を踏まえ、今年から具体的な施策展開を図っていきます。村内の基幹産業から発注される大型案件の受注に向けた研究会の設立や、研究機関発・大学発のス

タートアップ企業の創出を促進する支援策の基本構想策定などに取り組んでいきます。

三つ目は、「**生活者支援**」です。昨年12月に、エネルギー食品価格等の物価高騰対策として、地方自治体向けの重点支援地方交付金の拡充が示されました。本村としては、国の推奨事業メニューなども参考にしながら、村民の皆さまの生活を下支えするような支援策をできるだけ早期に実施していきたいと考えています。また、生活環境におけるさまざまな課題への対応も急務であると認識しておりますので、生活者目線に立った施策の在り方についても検討しているところです。

最後に、「**村の原子力政策**」についてお話しします。

東海第二発電所の再稼働問題につきましては、私自身、昨年9月の村長選挙において「再稼働は必要」と表明し臨みました。結果として、多くの村民の皆さまから負託を頂いたものと受け止めています。一方で、事業者による安全性向上対策工事は、鋼製防護壁工事の施工不良に伴う原子力規制委員会との協議が続いておりますので、引き続き、今後の動向を注視していきます。また、今年は避難訓練を実施したいと考えています。これまでは、地域ごとにガイドブック等を作成し、いざという時に、村民の皆さまが適切な避難行動が取れるよう、周知徹底に努めてきましたが、やはり実際に体験をしてもらうことが重要であると考えています。今後は、訓練内容等を整理していきますので、多くの村民の皆さまに参加していただければと考えています。

今年が皆さまにとって良き年となりますことをご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

東海村長 **山田修**



▲こども・わかもの政策



▲産業振興ビジョン

どこまで素顔に迫れる？

山田村長にインタビュー



東海村わかもの会議
あかつふみよさん
赤津 颯斗さん

皆さん明けましておめでとうございます。
「東海村わかもの会議」の赤津と申します。
どこか遠い存在に思ってしまう「村長」。普段は見る
ことができないその素顔を知りたいと思い、若者の
視点でインタビューをさせていただきました。
終始優しい笑顔で答えてくれた山田村長。その言葉
からは、常に住民への想いをご自身の中心に置いて
いることが伝わってきました。

Q 子どもの頃の思い出などを教えてください。

A 実はバックパッカーをしていたことも...

小さい頃は真面目であり目立つタイプではなかったと思います。若い頃の夢は「税理士」になることでした。最終的には茨城県庁で働くことを選択しましたが、就職が決まった後、1か月ほどバックパッカーをしていたこともあります。オーストラリアの都市を旅しながら、いろいろな人々と交流した時間は、今でもかけがえのない財産です。

Q どうして東海村長になったのですか？

A いくつかの偶然が重なり「天命」だと感じました

平成22年4月、茨城県職員だった時に東海村の副村長に就任したことが東海村との出会いです。私と同時に他の自治体に派遣された職員があと二人いたので、東海村との出会いは奇跡みたいなものですね。1年目を間もなく終えようとしていた平成23年3月に、東日本大震災が発生しました。当時インフラ復旧の陣頭指揮を執りましたが、大きな「無力さ」を感じました。その時、多くの住民の方々と向き合えた経験が今でも生きています。今思えば、「東海村に出向していなかったら」「東日本大震災が発生していなかったら」、東海村長としての私はいなかったかもしれない。まさに「天命」だと感じました。

東海村の良さを一言で表すと、「受け入れる懐の深さ」だと思います。優しさがああり、周りを巻き込む力がある。これが「住民力の高さ」だと思っています。

Q 激務だと思いますが、リフレッシュ方法はありますか？

A 住民の皆さんから「元気」をもらっています

村内のイベントや東海ステーションギャラリーでの展示など、なるべく時間をつくって会場に足を運び、住民の皆さんの活躍を直接見たい、話したいと思っています。昨年11月に開催された村の文化祭では、一つひとつの作品をじっくり見ていたら、一日では時間が足りず、結局毎日通ってしまいました。ランニングが好きで、勝田全国マラソン大会にも毎年挑戦しています。今年も参加を予定していますので、ぜひ応援してください！



今月の表紙



東海馬事苑で乗馬を学んでいる小木陽太さん(中学3年生)。「馬の魅力は、優しく向き合うと心を開いてくれるところ。今年はさらに乗馬の技術を磨きたい」と新年の抱負を話してくれました。



午年生まれの皆さんにインタビュー

午年は挑戦の年

午は、活力・情熱・行動力を象徴するとされ、午年は「新しいことへの挑戦に適した年」ともいわれているそうです。今号では、「広報とうかい」(11月10日号)で募集した午年生まれの方へ、「昨年の振り返り」と「今年挑戦したいこと」をお聞きしました。



バレエを続けながら
子どものサポートも全力で

照沼 真紀子さん
昭和53(1978)年生まれ

昨年は、娘の高校進学を機に、自分時間が増えた1年でした。家族の協力のおかげで、4年前から始めたママさんバレエを思い切り楽しむことができました。今年もバレエを続けて、もっとうまくなるように頑張ります。

張ります。それと同時に、サッカーをやっている息子が小学6年生になるので、息子のサポートも大事にしていきたいです。家族皆で支え合ひながら、子どもたちのサポートとバレエを両立して、笑顔の多い1年にしていきたいです。



体力づくりを続けて
趣味も仕事も楽しむ

袖山 信吾さん
昭和17(1942)年生まれ

長年にわたり書道を教えています。昨年は、40年以上指導してきた教え子が、茨城県芸術祭で入賞したことが心に残っています。新たな挑戦ではないですが、これまで続けてきた健康習慣を継続することが、今年

の目標です。普段から、体力づくりを行い、腕立て伏せも毎日続けています。週ごとに回数を増やした結果今では、1日に200回以上できるようになりました。継続は力なり。今年も健康で楽しい毎日を送っていきます。



夢を実現する年に！

北 佳さん
平成14(2002)年生まれ

幼い頃、村のイベントで環境問題に興味を持ったことをきっかけに、今は大学院で大気汚染の研究をしています。昨年はベトナムでの学会発表も経験し、充実した1年でした。今年就職活動を頑張ります。

ます。研究職の道も考えましたが、国家公務員となり持続可能な社会の実現に携わり、人々の幸せに貢献したいと思っています。修士論文の執筆もあり、忙しい1年になると思いますが、夢のために努力を続けていきます。



サッカーは人生の一部

雨貝 英樹さん
昭和41(1966)年生まれ

少年団でサッカーを教えています。昨年は、初めて担当学年を持たなかったのですが、子どもたちの新たな関わり方を考えた年でした。指導歴20年目となる今年は、グラウンド整備など、子どもたちがよりサッカーに専

念でできる環境づくりに力を入れたいです。自分にとってサッカーは人生の一部。子どもたちの成長を見ることが私にとって何よりのやりがいです。「練習は厳しく、試合は楽しく」をモットーに、今年も子どもたちと共に駆け抜けます。



好きなことを思い切り楽しむ！

河西 淳子さん
昭和41(1966)年生まれ

昨年は、村の姉妹都市である米国アイダホフォールズ市を初めて訪問しました。自由で大らかな文化を感じ、視野を広げることができました。今は、東海村と水戸市でかな書道教室を開いています

が、着物の着付けもできるので、今度は私が海外の方々に日本文化を教える活動に挑戦したいと思っています。自分の夢に向かって一歩踏み出して、地域にも貢献したいと思っています。



消防操法大会で優勝！

大津 健さん
平成2(1990)年生まれ

村に貢献したい思いから、消防団や東海まつりの実行委員会に所属しています。昨年の花火大会では、たくさんの来場者に喜んでもらえて、胸がいつぱいになりました。今年の目標は、消防操法大会に出場し優勝すること

です。昨年の操法大会では、村の第一分団が優勝しました。今年の大会では、自分が選手として出場し、村の消防団で二連覇を達成したいです。年男で優勝に貢献できたら、一段と素晴らしい年になりそうで楽しみです。



家族皆で楽しい思い出をつくる

川崎 真弓さん
昭和53(1978)年生まれ

ジャザサイズは、私にとって元気の源です。昨年は体調が優れない時期もありましたが、仲間を支えられ元気を取り戻せました。今年も引き続き、家族旅行に出掛けてたくさんさんの思い出をつくりたいです。昨

年春に息子が上京して、改めて家族皆で一緒にいる時間の尊さに気付きました。一緒に過ごせる時間は限られているからこそ、心に残る瞬間を共有して、いつかまた、家族皆で思い返して笑い合いたいです。



好きを仕事に！

首藤 沙紀さん
平成2(1990)年生まれ

昨年は、比較的自由な時間があつたので、趣味のミニチュアフード作りに熱中し、その楽しさを改めて実感しました。今年は、このミニチュアフード作りを、趣味から一歩進めて、販売に挑戦したいです。長年の夢でありながら踏み出せずにいましたが、ここで宣言することで、今年こそは実現してみせます。



▲自作したミニチュアフード

初めて自分の

干支に出会う年

二〇二六

一人ひとりの想いがよく表れています。
今年、皆さんが抱負を達成できるように
応援しています。

これから12歳を迎える小学5年生に
新年の抱負を書いてもらいました。
村内各小学校の5年生から、抽選で選ばれた
24人が画用紙に書いてくれた新年の抱負。

村松小学校
えさか かなと
江坂 佳風斗さん



舟石川小学校
いわはし あみ
岩橋 杏実さん



石神小学校
みやくぼ あいり
宮窪 愛梨さん



中丸小学校
ささき じゅんせい
佐々木 順正さん



白方小学校
くりやま まな
栗山 真奈さん



舟石川小学校
こいずみ そら
小泉 輝空さん



村松小学校
とこい けいた
床井 恵太さん



白方小学校
てるぬま そら
照沼 澄空さん



照沼小学校
てるぬま かな
照沼 環花さん



照沼小学校
ふくとみ ひろと
福富 大翔さん



中丸小学校
なかむら みれい
中村 美怜さん



石神小学校
えじり そう
江尻 奏さん



照沼小学校
しばた りょうせい
柴田 凌成さん



石神小学校
しばた すずね
柴田 涼音さん



白方小学校
かわかみ ことみ
川上 琴美さん



村松小学校
にしかわ しおり
西河 詩織さん



中丸小学校
やの さな
矢野 沙奈さん



照沼小学校
さかもと おとわ
坂本 音和さん



村松小学校
くさか みつき
日下 美月さん



石神小学校
こいずみ ゆきのり
小泉 友暉憲さん



中丸小学校
かわわ かなと
川和 奏士さん



白方小学校
あいざわ みなと
會澤 湊翔さん



舟石川小学校
とかし きあきら
渡嘉敷 颯さん